



PEACH BLOSSOMS

責任と信頼

笛吹高校通信 NO.1

2017. 7. 15発行

地域との連携教育の目指すもの

笛吹高等学校長

若林 喜久男



笛吹高校として開校し、8年目を迎えました。4月8日、新たに第8期生281名が入学し、全校生徒839名にて新年度をスタートしました。

本校は、校訓「責任と信頼」の下、教育目標として、「自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする」

「広い視野を持ち、地域社会の形成に進んで参画できる」

生徒の育成を掲げて取り組んでいます。

改めて地域社会の現状を見ますと、少子化が着実に進んでおり、人口減少は最大課題の1つであり、就労人口の減少は、地域の産業・暮らしへの影響は甚大であり、地域の衰退も危惧される中、今まで以上に若い世代が積極的に地域の産業や暮らしに関わり、自ら解決していくことが強く求められています。

本校では、上記教育目標の実現に向け、これまで地域に根ざした教育に取り組んできましたが、一層の推進に向け、本年新たに指導重点として「学んだことを活かし、地域課題に取り組む意識と行動力」を掲げました。

そして実現のための1手立てとして、4月12日、全校生徒が参加する中で、山下笛吹市長との包括連携協定を取り交わしました。

この協定を新たなスタートとして、これまでの取り組みを深化させるとともに、生徒が自ら考え、企画し、行動できる実践活動を通して、学んだことを実社会で活かすとともに、実社会を理解することで、新たに学びの目標を見出し、日々の高校生活の充実につながることを期待しています。そしてこの経験が、将来にわたって地域社会に興味関心を持ち続け、積極的に参画し、自らの力で地域の産業や暮らしを支えていける資質となることを願っています。この他にも3月に連携協定した山梨学院短期大学、既に連携協定している健康科学大学、県立農業大学校も含め、地域の活性化につながる教育活動に取り組み、学校自らも主体的にチャレンジを続けていきたいと考えています。

EVENT 1 入学式

4月8日(土)、第8回入学式が行われ、281名の新入生を迎えました。あどけなさが残り初々しさを感じますが、充実した高校生活になるよう期待しています。



EVENT 2 Welcome 笛吹

5月30日の放課後、付属農場にて2学年の生徒276名による植花作業を行いました。ペゴニアとセンパフローレンス2,208株を276のプランターに植え付け、駅周辺や市内の各所に設置しました。

市民の皆様はもとより県内を訪れる観光客の方々の心の潤いにつながるという、と願いつつ一生懸命、丁寧に仕上げました。

Welcome 笛吹とは・・・

本校農業科の生徒が実習で育てた草花苗を植花し、市内の商店や公共施設に配布して、観光などで笛吹市を訪れる人に潤いを感じていただくという企画です。



新入生宣誓の代表生徒 1組 岩野希美佳さん



植花作業



配布作業

VOICE 声

四月に入学して三か月ほど経過したところで、1年生に1学期の高校生活の感想を聞いてみました。



私は笛吹高校へ入学してから三か月が経とうとしています。入学したばかりの頃は、毎日が不安と緊張の連続でしたが、今では熱心な先生方や新しい仲間達に囲まれて有意義な学校生活を送っています。

今、笛吹高校では学園祭に向けての取り組みや準備が始まってとても活気があります。学園祭のクラス合唱では、最高の歌声が披露できるように頑張りたいと思います。また、クラス旗の担当をしているので、良いものにできるように一生懸命取り組みたいと思います。

まだ高校生活は始まったばかりですが、私は「日進月歩」を目標に一日一日を大切に日々進化できるような高校生活を送ってきたいと思います。

(8組 総合学科 木村菜々羽さん)

私は中学まで野球をやっていましたが、高校で新しくバドミントンに挑戦しました。最初はなれない素振りとランニングでへとへとになり、家に帰るとすぐに寝てしまっていました。今は三年生が引退して一・二年生だけの体制になり、基礎練習を中心に毎日頑張っています。何のスポーツも基本が大切だと実感しました。厳しい練習が試合結果に繋がるようにこれからも努力を重ねていきたいです。

仲間と切磋琢磨し、高校生活を有意義に過ごしたいと思っています。

(1組 普通科 藤原誓也くん)



笛吹高校に入学して三か月が経ち、ようやく高校生活やクラスになれ、楽しく過ごしています。

食品化学科では食品に関する専門的知識を学んだり、加工食品を製造する際の注意点などを学んだり、中学校では学べないことを日々学んでいます。最初は大変で辛かったけど、実習を行ううちに、調理・製造の楽しさや、作り終わった後の達成感を感じることができ、今はとても頑張れています。自分が作ったものを家族や友人が食べてくれて、「おいしい」と言ってくれたときは本当に嬉しかったです。

これからも夢に向かって頑張っていきたいと思います。

(4組 食品化学科 中山千里さん)

RESULTS 大会結果

県高校総体が4月下旬から始まり、本大会が5月10～12日の3日間、小瀬スポーツ公園を中心に展開され、多くの本校生徒も試合に臨みました。学校対抗得点は、男子が10点を獲得して第14位、女子が5点を獲得して第20位でした。

この結果、ソフトテニス(男女)・ライフル射撃・自転車・柔道・相撲・卓球・陸上の各々が関東大会出場を果たし、特にライフル射撃部ではチームライフル女子個人で梶田萌果さんが第3位、同じく女子団体で第3位に入る優秀な成績を納めることができました。

野球の春季大会も4月から5月にかけて開催され、野球部が甲府東・甲府城西高校を破りベスト8に進出しました。夏の選手権大会のシードを得て今後の活躍が楽しみです。

また、6月からはインターハイの県予選や全国大会の予選などが始まり、ソフトテニス部(男子)・ライフル射撃部・柔道相撲部が、文化局では植物研究部が全国大会に出場します。そこで、今回は7月・8月に行われる全国大会に向けての意気込みを、ソフトテニス部とライフル射撃部の選手に伺いました。



ソフトテニス部男子



主将 3年1組 武田眞季くん

7月21日から25日に福島県の会津総合運動公園テニスコートで開催されるインターハイに個人3チームと団体戦に出場します。個人戦では昨年度田辺・小宮山先輩組が5位に入賞し、団体戦ではベスト16入りを果たしました。

今年は、昨年以上の戦績と言うよりは、一戦一戦を集中して戦い、個人・団体戦とも5位以内の入賞をねらいます。

ライフル射撃部



3年1組 梶田萌果さん

高校から始めたライフル射撃。始めは思うように的に当たらず苦労しましたが、先輩方の的確な指導のおかげで少しずつ点が伸びてきました。自分自身も努力し、今年に関東大会において、チームライフル女子立射40発競技という種目で3位という結果を残すことができました。7月28日から広島県で行われる全国大会では、チームメイトも含めて、個人でも団体でも優勝を狙える実力があると確信しています。さらに秋の国民体育大会の出場も目指し、日々練習を積み重ねていきたいと思っています。

